

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時 2015 年 10 月 7 日 (水)

場 所 城陽市福祉センター 2 階

出席者：宇治支援学校(1名)、あんびしゃ(2名)、あつぷ(1名)、魁(1名)、城陽作業所(1名)、野の花(1名)、みんななかま(2名)、福祉課(1名) (参加者数：10名)

欠席者：(有)ファンシステム(1名)、庭一造園(1名)、(株)ナプラス (1名)、就労促進授産支援ネットワーク (1名)、はびねす (1名)

検討課題

1. 就労部会の主旨・目的の再確認、2. インターンシップ状況及び情報提供、3. 各事業所の就労の取り組み発表、4. その他 (他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項)

【議事録】

1. 就労部会の主旨・目的の再確認

*これまでの取り組み内容として、一つ目は「福祉事業所フェア」を 2 回開催した。「働くことについて考える機会にする」「城陽市にどんな事業所があるかを支援学校在校生の家族及び地域の方々に知っていただく機会にする」ことを目的に実施。

*二つ目は、企業 (ナプラス) への「インターンシップ」への取り組みに複数の事業所が参加。

*三つ目として、授産製品の開発。みんななかまと野の花でプレゼンをおこなった。この課題は「あんだんてが取り組むべきではないか」という意見があり、部会としての方向性は「就労のステップアップ」を目指していくことで整理した。

*部会の目的としては、企業就労に限らず、障がい実態が重度の方も含めて、どんな障がいがあっても働く意欲と力を伸ばすための「就労」について深めていくことだと考えている。

2. インターンシップ状況及び情報提供

*ナプラスとは引き続き連携していきたいと考えている。DIVE も積極的に考えてくれている。DIVE でのインターンシップの内容については、食べ物を扱うこともあるので衛生面等の課題があるが、丁寧に話しあっていきたい。庭一とは、現場に連れて行くことが難しいかもしれないということで、その後の進展はしていない。

3. 各事業所の就労の取り組み発表

*みんななかまのナプラスにおけるインターンシップ参加報告

*医療的ケアも含む重度の利用者が大半の実態ということで、その中で企業就労をイメージできた 2 名がナプラスのインターンシップに参加。実際に就職するイメージまでは持てなかったようだが、またインターンシップの機会があれば参加したいという意思是聞かれた。

4. その他 (他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項)

*企業誘致で来られる予定の郵政での雇用について、まずは市役所に話が来ると思うので情報を早くいただけたらと思う。また、道の駅ができると聞いているが、オープン前に見学に行く等できたらいいのではないかなと思う。

*市にはまだ情報は入っていない。情報が入ればお伝えしたいと思う。

*城陽市障がい者自立支援協議会 全大会でインターンシップの取り組みについて、城陽市の JA にも協力を求めているかどうかという意見があった。

*インターンシップ企業探しについては、まずは、依頼している宇治支援学校と繋がっている企業紹介と、部会参加企業のネットワークを活かして広がりをつくっていけたらと思う。生活介護や就労 B 型からのステップアップの可能性をどのように伸ばしていくかが課題だと思う。実際にできた事例はあるのかどうか。サービス利用計画できちんと見通しをもって進めていくことも重要ではないか。

*本人が将来は企業就労と考えることについては、就労 B 型のメンバーであっても、利用計画には実習を重視した内容にして、積極的に進めていくことが重要。実績ができれば、就労部会でもその実績報告をして内容を共有する等、企業就労にむけた勉強を進めていけたらいいと思う。

*インターンシップの説明書面づくりをおこない、受入企業の開拓をしていければと思う。

次回開催日：2015年12月9日